

作文コンテストで優秀賞を受賞



「第63回社会を明るくする運動」県推進委員会の作文コンテストで、滝根中学校2年の石塚美桜さん(写真左)と、船引南中学校3年の大越春香さん(写真右)が優秀賞に輝きました。

石塚さんは『「形」と「心」と題し、食器の片づけ方やおいっ子との触れ合いの中から学んだ思いやりの気持ちと感謝の気持ちの大切さをつづりました。

大越さんは「地域行事を通して学んだこと」と題し、自分の住んでいる地域の良さを見つめ直し、犯罪のない社会の実現に向けての思いをつづりました。

同コンテストの中学生の部には県内から573点が寄せられ、そのうち5点が優秀賞に選ばれました。

夜警活動の子どもたちに感謝状

田村市滝根町子ども会連絡協議会(佐藤悟会長)は2月22日、平成25年度集団夜警(火の用心)を行っている2つの子ども会員34人に記念品、本年度小学校を卒業する6年生、8人に感謝状を手渡しました。

感謝状は、田村消防署滝根分署長の人見正司さんと田村市消防団滝根地区隊長の永井弘純さんの連名で贈られました。

子ども会の集団夜警活動は28年間継続している事業のひとつで、少子化や交通事情など難しい状況のなか保護者の協力のもと、子どもたちがそれぞれの地域で「火の用心」を呼びかけました。



懐かしい思い出の味を再現



滝根公民館主催の生涯学習セミナー「手打ちうどん作り教室」が2月8日、滝根保健センターで行われました。

23人の参加者は、吉田泰久さんの指導を受け、うどんの粉を練るところから調理して食べるまでの約2時間でできるレシピを学びました。うどんは家にある身近な材料で簡単にでき、短時間で食べられることも、意外なポイントに受講生からはたびたび「へえ！」という驚きの声があがっていました。よくこねた、こしの強い手打ちうどんは好みの太さに切り分けられ、参加した全員で試食しました。

春を感じる飾り寿司



大越女性学級が3月1日、合同学習会および閉講式を行いました。

今年度最後の合同学習会では、市食生活改善協議会大越班の皆さんの協力をいただき、春の季節を感じさせる「梅とたんぼの飾り寿司」を作りました。出来上がった巻き寿司を切ると黄色やピンク色が入ったイメージ通りの色鮮やかな絵柄が現れ、学級生からは拍手と歓声があがりました。

最後の感想では「今度のひなまつりには、家族に作って食べさせたい」などの声が聞かれました。

末永くお元気で 松本謙喜さんに百歳賀寿



3月3日に満百歳を迎えられた松本謙喜さん(都路町岩井沢)。

県から県知事賀寿と記念品、富塚市長から賀寿と祝金が贈られました。また、市社会福祉協議会から賀寿と祝金が贈られました。

謙喜さんは、丁寧に辞儀をしながら賀寿などを受けられていました。長寿の秘訣は、「お互いに助け合い、夫婦仲良く生活してきたこと」とのことです。

末永くお元気で 生田目守代さんに百歳賀寿

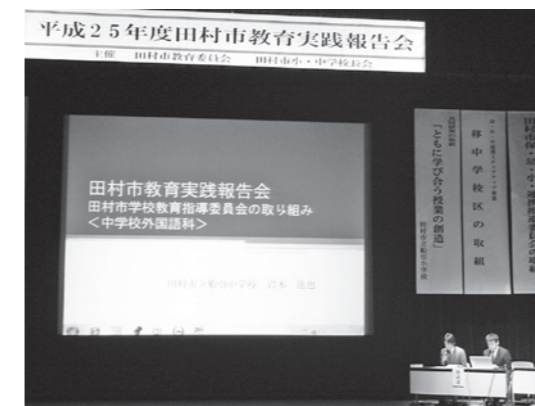
3月15日に満百歳を迎えられた生田目守代さん(都路町古道)。

県から県知事賀寿と記念品、富塚市長から賀寿が贈られました。また、市社会福祉協議会から賀寿、入所施設の特別養護老人ホーム都路まどか荘から記念品が贈られました。

守代さんは、にこやかに賀寿などを受けられていました。長寿の秘訣は、「好き嫌いなくなんでも食べる」とのことです。



特色ある取り組みを報告



田村市教育実践報告会が2月20日、市文化センターで開かれ、市内の幼稚園や小・中学校の教職員、保護者など約300人が参加しました。

報告会では、保・幼・小連携推進委員会や移中学校区の幼・小・中連携推進事業、船引小学校の共同研究、学校教育指導委員会による課題研究など工夫を凝らした特色ある取り組みが報告されました。

発表後の意見交流では、参加者から「今後の自分の実践に生かしたい」との感想が寄せられました。

子どもの未来を考える



新しい子ども・子育て支援制度や市の子ども・子育て支援施策の推進などを審議する「第1回田村市子ども・子育て会議」が2月25日、市役所で開かれました。

審議に先立ち、富塚市長から10人の方に委嘱状が手渡されました。委嘱された方々は次のとおりです。(敬称略)

佐藤真人、郡司守洋、宗像邦司、野口優子、牧公介、富塚光恵、佐久間金治、遠藤徳喜代、大和田益弘、和田正明

会長には牧公介委員、副会長には佐久間金治委員が互選されました。委員の任期は平成27年3月31日までです。